

皮膚科



診療科長
十一 英子

専門医資格等

日本皮膚科学会皮膚科専門医
京都大学 博士 (医学)
京都大学医学部 臨床教授
京都皮膚科医会理事

専門分野

皮膚科一般
皮膚免疫

得意疾患

乾癬
掌蹠膿疱症
糖尿病足病変

| スタッフ |

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	野々村優美		皮膚科一般	
専攻医	飯岡 孝英		皮膚科一般	
専攻医	高本 一盛		皮膚科一般	

| 令和3年度の主な取組 |

施設認定等

- ・日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・生物学的製剤使用承認施設

診療科の特徴

1. 乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、掌蹠膿疱症に対して生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病、悪性腫瘍など基礎疾患を持つ蜂窩織炎、带状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

主な対象疾患

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、ウイルス感染症（带状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

診療（業務）内容

乾癬：治療が急速に進展し、難治の皮疹や関節炎のため生物学的製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査を行い適応を決め、投与しています。

掌蹠膿疱症：病巣感染などの検索を行って治療しています。生物学的製剤を使用する場合があります。

アトピー性皮膚炎：

外用剤や免疫抑制剤内服で十分改善しない場合、生物学的製剤の注射を行っています。

蕁麻疹：抗アレルギー剤内服で効果不十分な場合、生物学的製剤の注射を行っています。

糖尿病に合併する皮膚疾患：

糖尿病と関連した難治性足潰瘍や皮膚病変を、糖尿病科、形成外科、血管外科、整形外科、循環器科などと連携して診療しています。

帯状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、或いは入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や免疫グロブリン大量療法を行っています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

診療実績

入院患者数

	2020年度	2021年度
1日平均患者数（名）	3.1	3.5
新入院患者数（名）	53	54
平均在院日数（日）	19.4	25.7

外来患者数

	2020年度	2021年度
1日平均総患者数（名）	56.2	54.2

主な手術・検査の件数（2021年度）

皮膚生検	275件	皮膚皮下腫瘍摘出術	48件
皮膚切開術	46件	皮膚悪性腫瘍摘出術	1件

学術活動報告（学会・研究発表など）

発表年月日	発表学会
2021.03.13	第402回日本皮膚科学会新潟地方会
「掌蹠膿疱症の臨床」 十一 英子	
2021.06.10-13	第120回 日本皮膚科学会総会
「前胸部皮下に腫瘤を生じた掌蹠膿疱症の1例」 飯岡 孝英、岡本奈都子、鄭 相紘、渋谷 真美、十一 英子	

発表年月日 演題名 等 / 演者 (下線は当院所属)	発表学会
2021.06.26 「複数回の歯科治療に伴い病勢の改善を認めた掌蹠膿疱症の1例」 野々村優美、 <u>飯岡 孝英</u> 、 <u>足立 晃正</u> 、 <u>十一 英子</u>	第470回 日本皮膚科学会京滋地方会
2021.07.11 「乾癬性関節炎に対しイキセキズマブ治療中にCOVID-19肺炎を発症した1例」 <u>飯岡 孝英</u> 、 <u>足立 晃正</u> 、 <u>野々村優美</u> 、 <u>十一 英子</u>	第114回 近畿皮膚科集談会
2021.09.03 「IL-17 阻害薬が乾癬には著効したが喘息が悪化した1例」 <u>十一 英子</u> 、 <u>飯岡 孝英</u> 、 <u>足立 晃正</u> 、 <u>野々村優美</u>	第36回 日本乾癬学会学術大会
2022.03.05 「左前腕に発生したsarcomatoid carcinoma に放射線照射を行った一例」 <u>高本 一盛</u> 、 <u>飯岡 孝英</u> 、 <u>野々村優美</u> 、 <u>十一 英子</u>	第474回 日本皮膚科学会京滋地方会

| 投稿論文など |

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社 著者 (下線は当院所属)
<p>(原著論文)</p> <p>Safety and efficacy of FIT039 for verruca vulgaris : A placebo-controlled, phase I/II randomaized controlled trial. JID Innov, 1, 3, 100026, 2021.05 <u>Nomura T</u>, <u>Sumi E</u>, <u>Egawa G</u>, <u>Nakajima S</u>, <u>Toichi E</u>, <u>Inoue N</u>, <u>Shibuya M</u>, <u>Okamoto N</u>, <u>Mitsuishi T</u>, <u>Uozumi R</u>, <u>Tada H</u>, <u>Nakagawa T</u>, <u>Kusuba N</u>, <u>Okuno A</u>, <u>Shimizuhira C</u>, <u>Ishikawa M</u>, <u>Tanaka S</u>, <u>Hagiwara M</u>, <u>Kabashima K</u>.</p>